



秋田県大仙市



親父たちの甲子園

野球に燃える



秋田魁新報社

全国・全県 500歳・550歳野球大会  
特別ルールブック vol.1



# ACCESS

## 道路情報

仙台南IC	北上JCT	横手IC	大曲IC
【東北自動車道 約80分】		【秋田自動車道 約60分】	
秋田駅	秋田南IC	大曲IC	
【一般道 約20分】		【秋田自動車道 約30分】	
盛岡		大仙	
【国道46号～国道105号 約120分】			
秋田空港		大仙	
【国道13号経由 約60分】		【秋田自動車道利用 約40分】	
東京		大曲バスターミナル	
【夜行高速遠距離バス 約9時間】			

## 鉄道情報

東京	盛岡	角館	大曲
【秋田新幹線こまち 約3時間30分】			
東京	山形	新庄	大曲
【山形新幹線 約3時間35分】【奥羽本線 約2時間】			
秋田		大曲	
【秋田新幹線こまち 約30分】			

## 空路情報

東京(羽田)	大仙
【約65分】	【車・エアポートライナーで約60分】
名古屋	秋田空港
【約70分】	【リムジンバスで約40分】
大阪(伊丹)	秋田駅
【約80分】	【秋田新幹線こまちで約30分】
札幌(新千歳)	大曲駅
【約55分】	
韓国(仁川)	
【約2時間30分】	

選手の皆さん憧れの女優

吉永小百合さんから

メッセージをいただきました。



500歳 野球大会出場の皆様  
一生涯 現役で野球を続けられていると  
伺い、本当に素晴らしいことと思います  
お怪我に気をつけて、大活躍して下さい  
下さり  
応援に行くことが出来ませんけれど、  
一生懸命遠くから 声援を送ります。  
頑張ってくださいね！！

2014年

吉永小百合

大仙生まれのスター俳優

柳葉敏郎さんから

メッセージをいただきました。



“50歳野球”は、秋田が誇るスポーツ文化…と自負します。  
50歳以上の野球少年(?)達が織り成すこの90分間は、  
笑いあり、涙あり、そして…  
大感動あり。  
この仲間にはいれさせないで頂いて  
いることに最高の幸にも感じています。  
… “50歳野球、万歳！”  
2014年、吉日  
柳葉敏郎



農業を通じて秋田と親交のある

俳優 永島敏行さんから

メッセージをいただきました。

東京在住の私が去年、映画祭や  
米作りで縁のある横手市十文字町の  
500歳野球のチームに所属させていただきました。  
500歳野球には優しがあります。  
勿論勝負事なので真剣に試合をしているのですが、  
それぞれのチームには野球経験者、野球を経験  
したことのない方、高齢者の方、ケガや病気などを  
患っている方などが参加してチームが作られている。  
試合に出られなくてもみんながみんなを支えチームが  
成り立っている。  
500歳野球は地域社会そのものなんだと  
気がきました。  
秋田県の素晴らしい文化なのでね500歳野球は！  
日本全国に広がればいいなあ！

2016年

# 全国・全県 500歳・550歳野球大会 特別ルール解説

## 【1】出場資格

- ① 大会開催年度内に満50歳(550歳野球大会は57歳)を迎える年代以上の方。
- ② ゲーム出場選手9人の合計年齢が500歳以上。(550歳野球大会は550歳以上)
- ③ 登録は、監督・主将を含めて30人以内。(550歳野球大会は25人以内と世話人5人以内)

## 【2】選手の服装・着用品

- ① ユニフォーム等は、チームで統一します。
- ② スパイクはポイントスパイク等。(金属製金具の付いたスパイクは使用出来ません。)
- ③ 捕手は、プロテクター・ヘルメット・レガーズを着用します。また、ファウルカップの着用を奨励します。打者、次打者、走者、ベースコーチも安全のためヘルメットを着用します。

## 【3】試合上の規則

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
イニング数	7	5	5
時間制限	1時間50分 (決勝戦を除く)	大会初日・2日目 1時間30分	大会初日 1時間30分
コールドゲーム	5回以降10点差 (決勝戦を除く)	適用無し	適用無し
延長戦	8回以降 タイ・ブレイク (一死満塁 選択打順)	大会初日・2日目 ジャンケン	大会初日 ジャンケン
		大会3日目以降 6回以降タイ・ブレイク (一死満塁 選択打順)	大会2日目以降 6回以降タイ・ブレイク (一死満塁 選択打順)

※時間制限の適用は、定められた時間を超えた場合は新しいイニングに入らない。

※タイ・ブレイク適用以外の同点試合のジャンケンは打順1番からとします。



区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
投手～本塁間	16m	16m	16m
塁間	23m	23m	23m
両翼～本塁間	80m	75m	75m
中堅～本塁間	90m	85m	85m

※バッターボックス区画やベース類は一般用のものを用います。

- ①投手、野手にこだわらず1度ゲームを退いても、何度でも出場できます。ただし、投手がイニング途中で退いた場合、同イニングでの再登板は認められません。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
55歳以下	アウトカウント12	アウトカウント9	—
56歳以上	制限無し	制限無し	—
59歳以下	—	—	アウトカウント9
60歳以上	—	—	制限無し

※タイ・ブレイクに至った場合は年齢制限を除外します。

- ②タイ・ブレイク時の打者、走者(三大会共通事項)  
打順は任意とし、走者は打者の逆順とする。次回以降は前イニング終了時からの継続打順とする。

- ③雨天、日没によるコールドゲーム  
雨天や日没の場合、5回(全県500歳・550歳大会「以下、全県大会」は3回)以降で勝敗が確定した時はコールドゲームを適用する場合があります。ただし、雨天等により一時中断しても、時間や試合が可能な球場等に会場を変更して行う場合もあります。全県大会は、この時点で同点の場合、出場選手9人によるジャンケンで勝敗を決めます。

- ④その他、上記規則に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとします。



## 全国・全県 500歳・550歳野球大会規定

- ①次の行為は厳禁とし、没収試合の対象とすることがあります。
  - 金属製金具の付いたスパイクで試合に出場した時。
  - 大会本部の決定に従わず、大会の権威を汚す行為をした時。  
(ボイコット等)
- ②試合に出場するチームは、出場する前試合の5回(全県大会は3回)が終了した時点で、直ちに大会本部へ先発メンバー表4通(全県大会は3通)及び個人カードを提出すること。ただし、各日第1試合については試合30分前に提出すること。
- ③次試合の先発バッテリー1組に限り、5回(全県大会は3回)以降ブルペンに入って投球練習を行うことができる。
- ④予定時間前でも試合を開始する場合がある。この時、前試合終了後20分を経過しても試合の準備が整わない場合は、そのチームを棄権と見なす場合もある。
- ⑤全県大会は対戦チームより外野ボールボーイ1名ずつを出すこと。
- ⑥シートノックは5分間とする。ただし、大会運営上、シートノックを行わずに試合を開始することもある。
- ⑦ベンチからの選手交代は個人カード(打順記入)で行い、内部のポジション交替は口頭で行う。  
(個人カードの受け渡し等は、原則監督とする)





- ⑧試合終了後、両チームの代表者は本部において試合記録の確認を行うこと。また、この際に勝利チームの代表者は次試合用のメンバー表を本部から受け取ること。
- ⑨試合球は、ケンコーボールM号を使用する。
- ⑩ベンチは組み合わせ番号の若い方を1塁側とする。
- ⑪荒天等により、大会期間中に全試合が消化できない場合、大会の中止もしくは延期については、主催者の判断により決する。
- ⑫試合終了後は、チームの勝敗に拘わらずグラウンド整備をすること。
- ⑬試合上のケガについて主催者は、一切責任を負わない。また、参加チームは傷害保険及び賠償責任保険等にチーム責任として必ず加入すること。
- ⑭その他、上記規定に特別の定めがない事項については実行委員会及び大会本部が別に定めるものとする。





## 再度出場の規則(代打代走)



常に9人の合計が500歳以上になっていること

- ① 打者に代わって代打者、走者に代わって代走者が出場できるが、打者、走者共に打順表の中でその順番が固定されており、多様な選手交代によって打者の打順を変えることはできないので、特にご注意願います。  
※守備位置が変わっても、打順は1試合を通じて固定されます。
- ② 代打者、代走者が守備についてもよいが、代わった自分の打順で打撃を続けること。

打者	1	2	3	4	5	6	7	8	9	◎	◎
走者	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K

例1) 1番のAさんにJさんが代打で出場したとき、Aさん、Jさん共に試合終了まで1番打者となる。

例2) 1番のAさんにJさんが代打で、2番のBさんに代走者Kさんが出てそのまま守備についたとき、試合終了までAさんとJさんが1番打者で、BさんとKさんが2番打者となる。

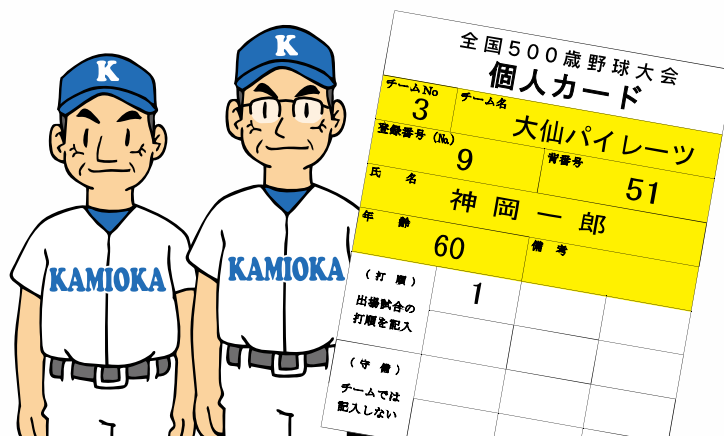
## プレイボール直後の選手交代

- ◎ 先攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、1番打者に代打を適用する。(OK)
- ◎ 後攻チームの場合、1回プレイボール直後に投手が1球も投げないうちに、守備の交代を適用する。(野手はOK)(投手は、第1打者と対決する義務があるのでNG)



## 選手交代時の年齢確認について

- ① 選手交代時は、審判にタイムを要求して個人カードで行ってください。
- ② 交替選手が確認できた段階で、審判は年齢計算を待たずにプレイをジャッジします。
- ③ 会場本部は、プレイ中に年齢計算をして、合計年齢確認の結果、万一年齢に不足が生じていても本部からは公表しません。(プレイを止めない)
- ④ 相手チームから、合計年齢不足を根拠とした計算年齢を提示した訴えがあった場合のみ、確認した合計年齢を公表し、実際に年齢に不足が生じている場合は、両チームの監督に確認し、選手交代を行います。尚、全県大会においては大会本部の指示を得た段階で没収試合とする場合があります。

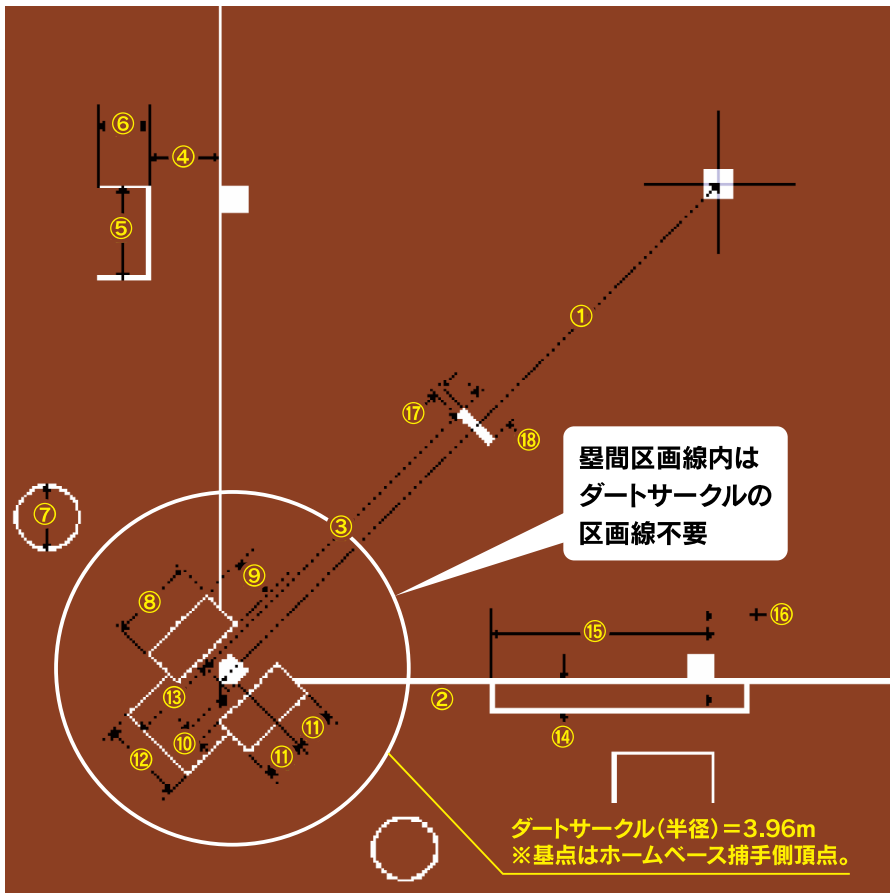


## アピール・クレームについて

年齢計算などの規定違反に対するアピール・クレームについては、現に規定違反となっている時点でのみ受け付けます。規定違反時点が過ぎてから、もしくは試合終了後のアピール・クレームについては、受け付けません。



# グラウンド区画線の長さについて



長さ	位置	長さ(m)
①	対角(塁)間	32.50
②	各 塁 間	23.00
③	投手板/本塁間	16.00
④	ファールライン/コーチスボックス間	3.00
⑤	コーチスボックス幅	5.14
⑥	コーチスボックス奥行	2.54
⑦	ネクストバッターサークル(直径)	1.30

長さ	位置	長さ(m)
⑧	バッターボックス長さ	1.82
⑨	バッターボックス幅	1.22
⑩	本塁/バッターボックス間	0.15
⑪	⑧の半分(中心位置注意)	0.91
⑫	キャッチャースボックス幅	1.09
⑬	本塁/キャッチャースボックス最後方間	2.44
⑭	3フィートライン幅	0.91
⑮	3フィートライン起点/一塁間	11.50
⑯	一塁/3フィートライン終端間	0.91
⑰	投手板幅	0.15
⑱	投手板幅	0.61

※①～⑦、⑭～⑱は学童野球規則、  
⑧～⑬(太字)は一般野球規則に準拠



# 外野フェンスの張り方(500歳野球)

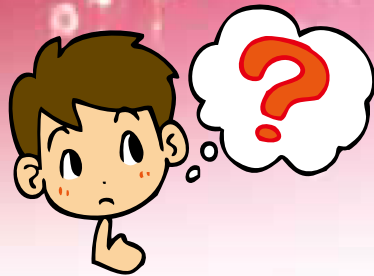


ホームベースの  
この頂点が基点です



# 500歳野球大会

# Q&A



## 選手の服装・着用品等について

Q. スパイクの色は別々でもいいのか？



A. 金属製金具のついたスパイク以外であれば、色は自由とし全員同色でなくても構いません。運動靴の使用も可とします。

Q. ランナーコーチが着用するヘルメットは、バッターヘルメットと同色でなければいけないのか？



A. 安全対策が趣旨であるため、同色でなくても良いが、できるだけ統一して下さい。

Q. ストッキングは同一色のものであれば、どのような形状でも良いのか？



A. 同一色(同デザイン)であれば、形状は問いません。

Q. サングラスの着用は可能か？

A. 可能です。種類も問いませんが、プレーに適したサングラスの着用をお願いします。





Q. パンツスタイルが多様化しているが、チーム内で混在していても良いのか？

A. レギュラー・ロング・エクストラロング・足掛け式ストレート等様々なスタイルのパンツがありますが、チーム内で混在しても可とします。ただし、スポーツマンらしい着こなしとしてください。

Q. 新人のチーム員にユニホームを新調する場合に、胸番号・袖マーク・背ネーム・パンツ番号まで統一しなければならないのか？

A. 現ユニホームも、数年後には廃盤になります。メーカーや素材が違っていてもデザインが統一されていれば可とします。また、胸番号・袖マーク背ネームは出来るだけ統一していただきたいと思いますが、メーカーの事情等により付いているものと付いてないものが混在しても可とします。

Q. 背番号に関する規定はあるか？

A. 監督、主将等の背番号規定は特にありません。また、番号についても自由ですが、試合に出場する選手は必ず背番号をつけていただきます。



# 500歳野球大会 Q&A



## その他

Q. 開会式にはどの程度の人数の選手を参加させるべきか？

A①. 全国大会:主催者側が定めた人数での参加となります。

A②. 全県大会:原則的には登録選手全員での参加をお願いします。

Q. 全県大会のボールボーイ係について、誰を出すのか本部への届け出は必要か？

A. 原則としてチームの一員でお願いします。届け出は不要です。チーム事情により、選手登録者以外の方を出す場合は本部にご確認ください。

Q. 試合中にケガをした場合、応急処置も各チームで行うべきか？

A. 各会場に救護係を配置しているほか救急箱も準備しておりますが、各チームでも出来る範囲で処置願います。



Q. 監督がプレーヤーと協議するために要求できるタイムの回数はいくつ？

**3回**

A. 1試合中、選手交代とは別に、「監督またはコーチが投手の所へ行く回数」「守備側」、「攻撃側」が要求できるタイムは、それぞれ3回までとします。なお、タイ・ブレーク時は2イニングに1回、要求することが出来ます。



Q. 雨天・日没で5回以降勝敗が確定時は  
 コールドゲームを適用する場合があるとなっ  
 ているが、どのような基準で判断するのか？  
 (全県大会は5回を3回と置き換えます。)

A. 次により主催者が判断します。

区分	全国500歳大会	全県500歳大会	全県550歳大会
5回に満たない	特別継続試合		
5回以降同点	特別継続試合		
5回以降 勝敗が確定	試合継続が不可能と判断した場合は コールドゲームとする場合がある。		

※途中荒天等による、試合継続の  
 可否については、試合を完了す  
 るように最大限の努力をしつつ  
 主催者が最終判断をします。



Q. 登録外選手または背番号が違う選手が出場  
 した場合の対応について

A①. 大会プログラムの登録番号と実際に着用して  
 いるユニホームの背番号が違う場合はメン  
 バー表の交換の際に申し出て、相手チームの  
 代表者が了承した場合は、出場を可とします。

A②. 登録選手間の背番号のつけ間違いが判明した  
 場合は、判明した時点で正しく改めさせて試合  
 を継続します。

A③. 登録外選手(大会プログラムに記載されていな  
 い選手)または、背番号が違う選手が出場した  
 場合は、その選手の出場を差し止め、ベンチか  
 ら退去させたうえで、チーム自体の没収試合と  
 はしません。

Q. 没収試合の対象となるケースは？

A. ゲーム出場選手の合計年齢が500歳以上(550  
 歳野球は550歳以上)を満たしていない場合や  
 金属製金具の付いたスパイクの着用が判明した  
 場合は没収試合の対象とする場合もあります。



## 個人カード記入の仕方について

**このカードは、スピーディな選手交代と  
年齢計算を行うために導入しています。  
記入する際には、下記の事項に注意して下さい。**

- ① チームNoは抽選番号、チーム名は正式名称を記入してください。
- ② 登録番号 (No.)、背番号は開会式当日に受付で配布する「大会プログラム」に記載されている番号と相違ないことを必ず確認してください。
- ③ 氏名はフルネームで記入し、打順は当該試合の固定打順を記入してください。  
※年齢も忘れずに記入してください。
- ④ 先発9人分のカードは、試合前にメンバー表とともに提出すること。  
(メンバー表の誤字・脱字にはご注意願います)
- ⑤ 選手交代をする時は、出場選手のカードを提出し、退く選手のカードを受け取ってください。(原則として監督が行うこと)
- ⑥ ボールペンまたはサインペンなどの消えにくく見やすいもので記入してください。(打順については鉛筆で記入してください)





## 記入例

全国500歳野球大会 <b>個人カード</b>			
チームの 抽選番号		チームNo <b>3</b>	
チーム名 <b>大仙パイレーツ</b>			
登録番号 (No.) プログラムの 通し番号		背番号 <b>51</b>	
氏名 <b>神岡 一郎</b>			
年齢 <b>60</b>		備考	
(打順) 出場試合の 打順を記入	<b>1</b> 鉛筆で記入		
(守備) チームでは 記入しない			

※      の欄はボールペン等で記入してください。

※「大会プログラム」と相違ないことを確認してください。



# 500歳野球の歴史



500歳野球のきっかけとなったのは、昭和53(1978)年に行われたある野球の紅白試合。県野球協会会長をつとめていた、故高橋政泰氏の提唱により、実戦に参加する機会がなく観戦だけに終わっている50歳以上のOB達が集まり、熱戦を繰り広げました。

翌54年6月、「神宮寺嶽クラブ」の新調のユニフォームを着用した28名は再び紅白試合を行い、さらに7月1日には町内外の反響の大きさに力を得て「第1回大曲仙北500歳野球大会」を開きました。

これら二度の紅白試合と郡市大会を行い、自信をつけた選手の間から「今度は全県大会を開催したら」との声が上がり、同年10月20日、秋田魁新報社が主催となり、少年野球発祥の地と言われる旧神岡町の主管で、記念すべき「第1回全県500歳野球大会」が行われたのです。



【編集】500歳・550歳野球大会実行委員会  
(秋田魁新報社・大仙市)

【監修】大仙市野球連盟 神岡支部

お問い合わせ先



大仙市教育委員会  
生涯学習部 スポーツ振興課

〒014-8601秋田県大仙市大曲上栄町2-16  
TEL.0187-63-1111 FAX.0187-63-7131